

グローバル教育センター ニュース



Global Educational Center Newsletter

東京家政大学 グローバル教育センター

板橋キャンパス 16号館2F

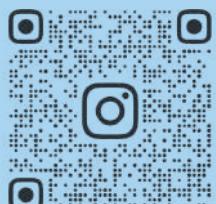
TEL : 03-3961-1861

メール : gec@tokyo-kasei.ac.jp

開室 : 月～金/9:00～17:00

土/9:00～12:00

instagram:



TOKYOKASEI_GLOBAL



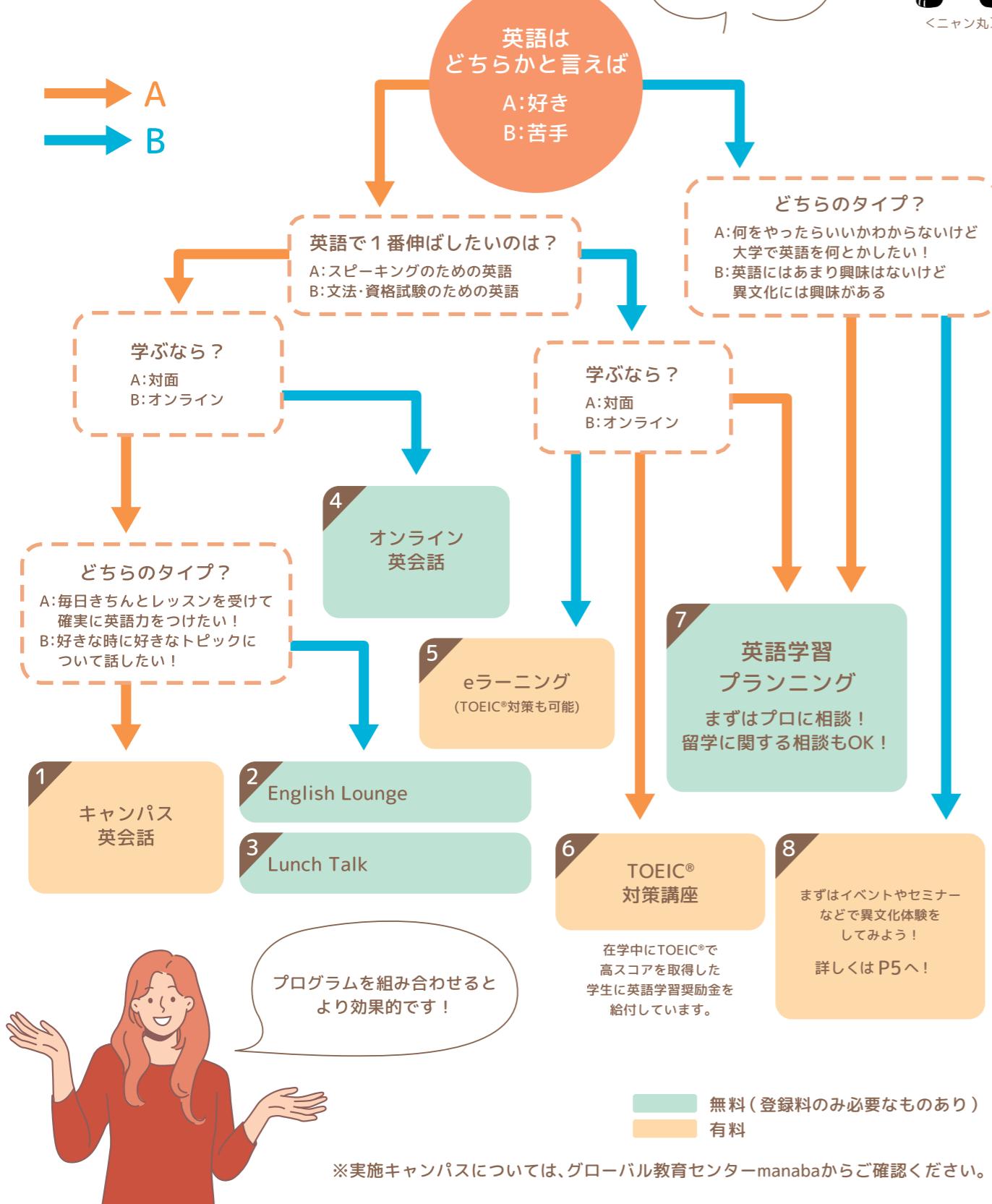
Go! global!





授業外で学ぶ！

あなたにおすすめの英語学習サポートは？



グローバル教育センターでは授業外でも様々なサポートを受けることができます。隙間時間などを活用し、英語力を高めましょう！

	プログラム名	期間	内容
1	キャンパス英会話	通年	毎日ネイティブの先生による英語のグループレッスンを受講できます。 ※条件を満たすと奨励金の対象になります。
2	English Lounge	通年	マンツーマンで英会話レッスンが受けられます。 年に数回イベントも実施しています。
3	Lunch Talk	通年	お昼休みの時間帯に、グループレッスン(先着6名)のLunch Talkを実施しています。予約不要で毎日参加可能です。お弁当やお菓子を食べながらでもOKですでの、お昼休みを有効利用できます。
4	オンライン英会話	通年	インターネットを使って、海外にいる講師のマンツーマン英会話レッスンを好きな時間に好きな場所で受けられます。隙間時間を利用できます。
5	eラーニング	通年	いつでもどこでも英語を学ぶことができます。TOEIC®やTOEFL®のテスト対策をはじめ、総合的な英語力の向上を目指すプログラムなど様々なコースから自分にあったコースを選択できます。
6	TOEIC®対策講座	通年	TOEIC®のスコアを上げるための対策講座を実施します。
7	英語学習プランニング	通年	英語の勉強はしているのに、スコアがなかなか上がらない、勉強法がわからないという方は必見です！英語学習アドバイザーがあなたの英語学習をサポートしてくれます。
	英語試験 (TOEIC® IP, TOEFL ITP®)	年2~5回	就職活動に活かせるTOEIC®のIPテストや留学に必要なTOEFL®で現在の英語力を知ることができます。

■ 無料 (登録料のみ必要なものあり)
■ 有料

英語学習奨励金

① TOEIC®L&R(IPテストを含む。ただしIP(オンライン)は不可)において800点以上を取得した学生に30,000円を給付する。
② TOEIC®S&Wにおいて300点以上を取得した学生30,000円、もしくは TOEIC®Speakingにおいて150点以上を取得した学生に15,000円を給付する。

※上記は2020年4月以降、在学中に受験した試験のスコアのみを有効とし、①と②はそれぞれ在学中に1度のみの申請を可とする。

センター内で使用できるコンテンツ

本が読めます！	iPadが使用できます！	英語の番組を常時放映しています
各語学の学習本はもちろん、様々な試験の対策本、各学科に関する英語関連の本や漫画本、留学に関する本まで幅広く取り揃えています。最新の本もたくさんご用意しています。	センター内ではiPadの貸し出しを行っています。NetflixやDisney+などを視聴することができます、その他にもたくさんのアプリを利用することができます！	センター内に設置してあるテレビとルーチェで英語の番組を放映しています。お昼を食べながら、ちょっとしたフレーズを覚えてみては？



国際交流プログラム について知りたい！



キャンパス内で異文化交流！本学留学生・教職員も参加します！

【参加費:3,000円】

国際交流バス旅行

9月
中旬

※夏期休業中



1泊2日で本学留学生と観光や体験学習をおこないます。

※昨年度訪問先

伊香保温泉、ロックハート城、原田農園(ぶどう狩り)

【参加費:無料】

国際料理教室

11月
中旬

場所 板橋キャンパス

定員 20名(9月頃受付開始)



本学留学生が母国の料理を紹介し、一緒に調理・試食をおこないます。

※昨年度メニュー例

麻婆豆腐(中国)・カニと餅の炒め(香港)など

【参加費:無料】

インターナショナルカフェ

6月
10月

場所 板橋キャンパス

定員 各回15名(5月/9月頃受付開始)



本学留学生とテーマに沿って語り合いましょう！
生まれ育った環境や今までの経験が違うからこそ新しい発見
や異文化を知ることができます。

- 国際情勢や応募状況により実施を見送る場合や、参加費・研修内容を変更する場合があります。
- 申し込みについては、manabaに詳細をアップします。

私達、グローバルリーダーズが
イベントを企画・運営してます!!

グローバルリーダーズとは、2021年に発足した、グローバル教育センターの学生ボランティアグループ。センターのイベントの企画や運営、SNSの投稿など、学生ならではの目線で、学内の異文化理解やグローバルマインドを広める活動をしています。



International Student

from Indonesia

2023年度入学留学生

栄養学科 A.Lさん



日本での大学生活はどうですか

A 入学当初と比べると授業にも慣れ、友達と過ごす時間も多くなり充実した毎日を送っています。最近は図書館で小説を読んだり編み物を始めたり、手芸に関する本を借りるようになりました。学習目的だけでなく、趣味のためにも利用できる図書館は本当に貴重だと感じています。さらに、通学中に四季折々の花や木を楽しむと、自分がとても恵まれた環境で大学生活を送っていることを実感します。

国際交流イベントへの参加で得た経験や学びを教えてください

A 国際交流イベントを通して新しい交流がたくさん生まれました。特に国際交流バス旅行では、同じ部屋になったみんなとたくさん話すことができ、より深い交流をもつきっかけになりました。この経験を通じて、日本人が持つ海外のイメージや、その好奇心に気づくことができました。新しい出会いと学びに感謝しつつ、さらに交流を広げていきたいと思います。

International Student

from Taiwan

2023年度入学留学生

管理栄養学科 H.Cさん



国際交流イベントへの参加で得た経験や学びを教えてください

A インターナショナルカフェや国際交流バス旅行、国際料理教室などに参加することで、日本人学生との交流が増えました。これらの活動を通じて、日本の文化や流行を深く理解できるだけでなく、日本人の習慣や価値観を体感できました。この経験は、日常生活でのコミュニケーションに役立ち、日本の社会に適応するための貴重な経験となっています。

卒業後の進路について教えてください

A 私は日本での就職を考えています。日本の環境や文化に深い興味があり、大学で学んだ専門知識を活かした仕事を通じて成長し、貴重な経験を積みたいと思っています。また、将来的には大学院に進学して、専門的な学びを深めることも考えています。どちらに進むにしても、自分のスキルを活かせる環境で働きたいです。

家政大の留学生&グローバルリーダーズ

Interview

Global Leaders

グローバルリーダーズ
(4期生)



造形表現学科 M.Kさん

1年間どんな活動をしましたか？

A 1年を通して国際交流イベントの企画・運営、広報活動、さらに留学生とのランチ会を実施し交流を深めてきました。私は、学科の専門科目でグラフィックデザインを学んでいます。各イベントの広報活動ではポスターも自分達で作成し、日々の学びを実践できる貴重な経験となりました。

GLを経験してどう成長しましたか？

A 1年間GLとして活動していく中で、以前の私よりもコミュニケーション能力がついたと思います。イベントに参加してくれた学生たちに楽しんでもらえるよう、話し方であったり、積極性であったりを身につけることができました。初めは緊張もあってか、力みすぎてぎこちない言動をしてしまうこともありましたが、回を追うごとに円滑にコミュニケーションを取れるようになりましたが、自信を持つことができました。

Global Leaders

グローバルリーダーズ
(4期生)



栄養学科 M.Yさん

1年間どんな活動をしましたか？

A 1年生のときに参加した国際交流バス旅行で見たGLの姿に憧れを抱いたことが応募のきっかけです。ひとり参加で心細く感じていた私にGLの先輩方が声をかけてくださいり、行動と共にしてくれたことがとても印象に残っています。またバスレクや交流会などの企画も楽しいものばかりでした。私も同じことをしてみたい！とのどきに強く感じました。

GLを経験してどう成長しましたか？

A 臨機応変に行動する力が身につきました。イベントの進行表を作っていても、本番はそれ通りに進まないことも多く、アドリブで話さなければならなかつたり、設定時間を変えたりすることがありました。そのようなときでも焦らず行動する対応力をこの活動で養うことができました！



海外・国内研修プログラムについて知りたい！

語学研修



長期語学研修

国名	語学研修(約6ヶ月滞在)				語学・専門研修(約10ヶ月滞在)			
	出発	内容	滞在	募集人数	出発	内容	滞在	募集人数
アメリカ	8・9月	約6ヶ月間、大学附属の語学学校でアカデミックイングリッシュコースを受講しながら、ボランティア活動やインターンシップ、大学のクラブ活動に参加して現地の暮らしを体験する。	ホームステイ/大学寮	各2名程度	2・3月	約6ヶ月間、大学附属の語学学校でアカデミックイングリッシュコースを受講後、学部の授業を1学期間履修する。また、滞在中にボランティア活動やインターンシップ、大学のクラブ活動に参加して現地の暮らしを体験する。	ホームステイ/寮	各1名程度
イギリス	8・9月							
カナダ	8・9月 または2・3月							
オーストラリア	8・9月 または2・3月							
ニュージーランド	8・9月 または2・3月							
アイルランド	2・3月							

●国際情勢や応募状況等により実施を見送る場合や研修内容を変更する場合があります。

●長期留学については本学の授業期間中の実施のため、本学での授業、単位、資格等の取扱いについて必ず事前に所属学科に確認をしてください。

短期語学研修

国名	プログラム名	出発(期間)	内容	引率	募集人数
カナダ	カルガリー大学短期語学研修	8月(30日間)	一般英語コース(4時間/日) 【ホームステイ】	一部あり	1~15名
アイルランド	ダブリンシティ大学短期語学研修	8月(32日間)	一般英語コース(4時間/日) 【ホームステイ】	一部あり	1~20名
イギリス	カンタベリークリストチャーチ大学短期語学研修	8月(30日間)	一般英語コース(5時間/日) 【ホームステイ】	一部あり	1~16名
フィリピン	ラプラプセブ国際大学短期語学研修	8月(30日間)	一般英語コース(5時間/日) 【大学寮】	一部あり	1~15名
ニュージーランド	ワイカト大学短期語学研修	2月(30日間)	一般英語コース(4.5~5時間/日) 【ホームステイ】	一部あり	1~20名
韓国	梨花女子大学校短期コリア語研修	8月(17日間)	コリア語クラス(3時間/日) 文化授業、校外学習等【大学寮】	なし	1名~
台湾	国立台湾師範大学短期中国語研修	8月(21日間)	中国語クラス(5時間/日) 文化授業、校外学習等【大学寮】	なし	1名~
ドイツ	バウハウス大学ワイマール短期ドイツ語研修	8月(25日間)	ドイツ語クラス(5時間/日) 文化授業、校外学習等【大学寮】	往路 現地同行あり (オプション)	1名~
フランス	リヨンカトリック大学短期フランス語研修	8月(30日間)	フランス語クラス(4時間/日)文化授業、 校外学習等【ホームステイか大学寮ステイを選択】	なし	1名~

国内セミナー

海外に行かなくても英語漬けになれる！英語力を鍛えられる！

プログラム名	期間	内容【滞在方法】
Global Summer Camp 【集中英語・異文化研修】 初級者向け	8月(4日間)	英語クラス(3時間/日)、箱根散策等【箱根仙石セミナーハウス】 本学の箱根仙石セミナーハウスで英語漬けの生活を送ってみませんか？セミナーハウスの中ではEnglish Onlyがルール。箱根市内の散策もあります。英語は学びたいけれど海外に行く自信はないという人や留学前に英語での生活を体験してみたいという人におすすめです！ 
狭山グリーンセミナー 【留学のための集中英語研修】 中級者以上向け	2・8月(3日間)	英語クラス(7時間/日)、講義等 【狭山セミナーハウス】



梨花女子大学校短期コリア語研修

栄養学部
管理栄養学科 2年(参加時)
M.Y



昌徳宮(チャンドク宮)の観光時

テコンドーのアクティビティにて

Q. プログラムに参加しようと思った理由を教えてください

A. 現地の方が話す韓国語を学びたかったこと、韓国料理に興味があったことから参加を決めました。1年生でコリア語を履修してさらに韓国語を習得したいと思い、コロナ明けで再開した海外研修に参加しました。

Q. 梨花女子大学の周辺はどんなところでしたか？

A. 梨花(イデ)駅が最寄りで徒歩5分程度で学校に着きます。近くには食事処やファーストフード店、服屋さんなど様々なお店がありました。ダイソーや近くにあり駅から直結していたのでそこで寮生活に必要なものをそろえました。大通りが近くにあるのでバスも利用しやすいです。

Q. 授業や大学寮での生活はどうでしたか？

A. 授業はレベル別に分かれてだったので置いて行かれることも簡単すぎることもなく、ちょうど良いペースと難易度でした。1クラスを2人の先生が日替わりで教えてくださり、私たちのクラスは教科書に沿って進めていました。生徒同士で練習したり話し合ったりすることが多く、仲を深めることができました。最終日は簡単なテストを行いました。寮は2人1部屋で利用しました(1人部屋もあります)。基本的な机や洗面所、寝床はありますが、トイレットペーパーやハンガーなどはなかったので自分で買いました。洗濯はコインランドリーが寮内にあるのでそこを利用しました。

Q. 週末はどのように過ごしましたか？

A. 週末に限らず、平日の夕方頃から自由な時間になっていたので一緒に参加した家政大のみんなで買い物やご飯を食べに行ったりしました。地下鉄で移動しやすいので毎日学校終わりに出かけていました。韓国語の授業が午前があり、午後のアクティビティは学外で行われたもののが多かったので、その周辺で行きたいところを見つけていました。丸1休みの日は少し遠出をしたり、それぞれ行きたいところをみんなで回ったりと比較的の自由にやりたいことをしていました。

Q. この研修への参加を迷っている学生さんにアドバイスをお願いします

A. 3週間弱と短い期間でしたが、確実に語学力が上がったと感じましたし、新しい友達もできたりと充実した日々を過ごすことができました。今回家政大からは4人参加し、全員学年も学科も違い、初めての状態でしたが、すぐに仲良くなり今はずっと話していられるような親しい関係になりました。私自身も1人で応募したので心細く感じていましたが、家政大生だけでなく現地でも必ず友達はできるので心配はいらないです。様々な国から参加者が来るので価値観や考え方の違いを感じられる貴重な機会でもあります。もし少しでも興味があり行くことができる環境にあるのならば、参加してみて欲しいなと思います。

Interview



アデレード大学語学・専門研修

家政学部 栄養学科
管理栄養士専攻3年(参加時)
M.N



Victor Harbarで友人と

ワインテイスティング 友人と

Q. プログラムに参加しようと思った理由を教えてください

A. 高校在学時に1年間の交換留学を行ったのですが、新型コロナウイルスの影響でプログラムの途中で強制帰国することになりました。その後、大学に進学し、もし再び留学のチャンスがあるなら長期で挑戦したいと思い、このプログラムに参加を決めました。

Q. 参加するにあたって大変だったことは何ですか？

A. 専攻の勉強と英語の勉強を両立させることが大変でした。プログラム参加が決まってから、中断していた英語の勉強を再開しましたが、その時が実験やテストが忙しい時期で、課題やテスト勉強に追われながら英語の勉強をするのは本当に苦労しました。

Q. 留学に行く前と後で、オーストラリアやオーストラリアの人に対するイメージは変わりましたか？

A. 留学前にはYouTubeで動画を見していましたが、現地に行くと予想以上に異なることに気づきました。私が滞在しているアデレードは留学生や移民の数が比較的小ない町ですが、それでも生活している中で本当に多くの言語を耳にしました。留学生が母国語を話す場面も多く見かけましたが、それと同時に、オーストラリアに生まれ育つても両親は移民だから、家族とは英語以外の言語で話すという人も多く目にしました。みんな英語を使ってコミュニケーションを取るけど、それぞれ持っている文化や価値観は異なり、その違いを受け入れて生活するというのは、日本で生まれ育ち、ずっと日本語を使ってコミュニケーションを取っていた私にとって新しい経験でした。

Q. 留学中の一番楽しかったことを教えてください

A. 友達と一緒に計画して、メルボルンとシドニーに5日間旅行を行ったことです。高校の留学では未成年だったので自由度は低く、旅行も原則禁止でした。そのため、旅行に行けることが本当に嬉しくて、今回初めて旅行を計画したり、ホテルやツアーや

を予約したり、航空券を予約したりするのにはとてもワクワクしました。旅行のためのアルバイトでさえも楽しく、満足のいく旅行を行いました。

Q. 留学中一番大変だったことは何ですか？

A. 大学の最終課題であるエッセイを書くことが一番大変でした。選んだ科目すべてにエッセイの課題があり、その重さは成績の半分以上を占めるほどでした。エッセイを書きかたなどは語学学校で学びましたが、語学学校で書いたエッセイは800語に對して、大学での最終課題のエッセイは2000語が基準でした。それが3つあったので、資料集めや下書き、添削するが本当に大変で、何度も投げ出しそうになりました。

Q. 留学を通して学んだこと、自分自身が変わったことは何ですか？

A. 留学を通して、オーストラリアでの異文化体験は私にとって大きな影響を与えた。例えば、オーストラリアでは日本とコミュニケーションスタイルが異なり、積極的に自分の意見を表現することが重要だと気づきました。また、多様性を尊重し、異なるバックグラウンドを持つ人々と協力することで、柔軟性や対応力が向上しました。

Q. 留学を悩んでいる人へのアドバイスをお願いします

A. 「留学」と一言でいっても十人十色の経験が得られるのが留学の素晴らしい点だと思います。だからこそ、「留学すること」を目標にするのではなくて、一人一人が異なる目標を持ち、留学中それに向かって努力すれば、留学は一生の宝物になります。留学を悩んでいる人にお勧めするのは、自分の目標や学びたい分野を明確にし、それに基づいて留学を行うか決めるということです。もちろん、目標がないから海外に行かない、という訳ではありませんが、より留学生活を有意義に過ごすためには1度目標を持ってみるのも1つの方法だと思います。



海外・国内研修プログラム
について知りたい！

専門研修
インターンシップ



教職員と共に海外の現場を見て
専門分野の学びを深めよう！



イタリア文化・美術研修
(イタリア

募集人数 24名

2月出発 (14日間)



イタリア各都市での
美術研修(修道院・ホテル滞在)



フランス服飾美術研修(フランス

募集人数 20名

2月出発 (9日間)

ITECH学生との国際交流、
フランス各都市での
服飾美術研修(ホテル滞在)

美術館見学や市内観光、ITECH学生との交流を通して、フランスの服飾技術や文化をたくさん学ぶことができました。特にITECH学生との交流会では、英語で日本文化を紹介したり、フランス伝統のお菓子と一緒に食べたりして、異文化交流ができたのがとても楽しかったです！今後はフランス語や英語の勉強にも力を入れたいと思います。



エジンバラネイピア大学
SDGs共創・文化体験＆英語研修
(イギリス

募集人数 20名

8月出発 (13日間)



SDGsをテーマにスコットランドの
実践例を学び、伝統文化体験ができる
探究型研修(ホームステイ)

NEW
食でつながる異文化交流

台湾食農育文化プログラム(台湾

募集人数 10名 3月出発 (7日間)



師範大学と食農文化交流、
国立台湾の農業技術を学ぶ(ホテル滞在)



NEW
台湾文化・美術研修(台湾

募集人数 30名 3月出発 (7日間)



大葉大学と国際交流、台湾各都市での美術研修
(ホテル滞在)



グリフィス大学栄養＆英語研修(オーストラリア

募集人数 24名

2月出発 (15日間)



英語クラス(3時間/日)
登録栄養士による講義と
職場見学等(ホームステイ)



マッセイ大学幼児・初等教育＆英語研修(ニュージーランド

募集人数 24名

2月出発 (17日間)



英語クラス(3時間/日)、
幼児・初等教育に関する講義と
幼稚園・小学校等の施設見学等
(ホームステイ)



ニュージーランドの子どもたちのいる施設や小学校を見学するだけではなく、実際に自分たちの考えた活動を子どもたちと一緒にできます！マオリ語の手遊び歌や英語絵本の読み聞かせができるようになります。帰国後の活動(付属幼稚園訪問)でも自信がつきました。家政大ならではの保育者・教育者としての自己肯定感爆上がりプログラムです！



NEW
セブ島インターンシップ(フィリピン)

募集人数 6~20名 2月出発 (14日間)

孤児院、ホテルまたは空港でインターンシップ体験 ※引率なし

10



グローバルセンターの活用方法が知りたい！

\ 学生に聞きました! /

入学前

小学生の時からの夢である小学校教諭になるために

たくさん活用してね～！



児童学部児童教育学科 4年MMさん

小学校教員になるという小学生の時からの夢を実現するために小学校教員を多く輩出している本学の児童教育学科を受験しました。また、海外留学もしてみたいと思っていたため、充実した英語学習サポートや研修を提供している本学への入学を決めました。

大学1年

GEC manabaでのはじめの一歩がなりたい自分へのきっかけに

コロナ禍で、授業がオンラインになってしましましたが、「何かに挑戦したい」と思っていました。そのときに、manabaのグローバル教育センターのページで、自分の興味がある英語と教育を掛け合わせた「ニュージーランド・マッセイ大学幼児・初等教育＆英語研修（オンライン）」を行うことを知り、参加しました。研修では、ニュージーランドの多様性を認める教育、様々な考え方につれて触ることができ、自分の教育観を構築するきっかけとなりました。また、英語のコミュニケーションをとる難しさを痛感し、英語力を向上させたいと思いました。



大学2年

English Loungeで多様な
バックグラウンドを持つ講師との出会い

English Loungeに通い、多くの先生に出会い、食べ物、場所、文化、考え方の違いを知りました。英語力を向上させようと思って始めたEnglish Loungeでしたが、英会話を通して、異文化にも触れることができたと思います。さらに、イギリスのスコットランドにある公立の小学校にオンラインで日本の地震、津波について授業をする機会をいただき、海外の小学校との交流に興味をもったきっかけとなりました。

大学3年

留学アドバイザーとしての
経験と海外研修への参加

大学2年生の時に、留学アドバイザーとして1年間グローバル教育センターの活動に参加しました。英語交流会でSDGsのトピックを話すイベントを企画し、日程調整やEnglish Loungeの先生との連絡など1つのイベントをつくる大変さを実感しました。2023年の春休みには、念願であった「ワイカト大学短期語学研修」に参加しました。素晴らしいホストファミリーに出会えたこと、海外の小学校に自分たちでアポイントをとって見学させてもらえたこと、英語を使って友達をつくることができたことなど、充実した1ヶ月間でした。今までの英語学習の成果を発揮し、やりたかったことを実現することができたと思います。

大学4年

「本当になりたい自分」を目指して成長していくことで得られた幸福感



大学4年生では「小学校教員になる」という夢の実現に向けて、教員採用試験の勉強に一生懸命励みました。個人面接や小論文、集団討論では、グローバル教育センターでの学びを生かすことができました。例えば、個人面接では、留学経験が強みになり、集団面接では、他の人の意見を受け入れる、多様な考え方を認めるという姿勢が生かされました。また、卒業論文では、「海外の小学校とのオンライン交流の実践」をテーマとして、日本の小学校と海外の小学校がオンラインで異文化交流をする授業の提案をしました。ここでもグローバル教育センターでの経験を活用することができました。

学生へのアドバイスをお願いします

挑戦できる環境があります！多様な人との出会いがあります！

大学4年間という時間の中で、まず「挑戦してみる」ということが大切だと思います。私自身も最初、研修やEnglish Lounge、アドバイザーとしての活動をするかどうか悩みました。しかし、やってみることで、もっと英語を話せるようになりたいというモチベーションがわいたり、コミュニケーションをとる大切さを学ぶことができました。グローバル教育センターの職員の方々をはじめ、学部や学科を超えた学生に出会えたこと、世界をバックグラウンドにもつた人と出会えたことは、大切な宝物です。「挑戦」をすれば、必ず何かを得ることができます。グローバル教育センターにまずは足を運んでみてください。素敵なお出会いと経験が待っています。